

## 2022年度事業報告

政府の経済見通し（2023年1月23日）によれば、2022年度の経済動向は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いている。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、我が国経済を取り巻く環境には厳しさが増している。とされている。

また、日銀北九州支店による「北九州・京築地区の金融経済概況」（2023年3月1日）では、北九州・京築地区の経済は、緩やかに回復しており、設備投資は2021年度を下回るものの、例年と比べて高めの水準を維持し、供給制約や原材料コスト高の影響を受けつつも、業績回復に伴う設備投資の拡がりが見られる。という見方がなされている。

当振興会は2022年度も、地域企業等のニーズに対し、適正かつ適確な技術支援を持続的に行い、技術・技能の高度化に貢献することを使命として、教育研修、材料試験、機械加工の公益3事業の効率的かつ効果的な運営に努めた。

本年度の事業収入は、教育研修事業では、クレーン関係講習や非破壊検査講習が、新型コロナウイルス感染症対策のため、受講定員を減少させて実施したが前年度と同程度の実績となった。材料試験事業は、鉄鋼関係、コンクリート、プラスチック、フィルムとも一年を通じて好調を保ち、過去最高の収入となった。機械加工事業については、コロナ禍によって事業収入が落ち込んだ2020年度からは若干ではあるが回復傾向の状況にある。3事業トータルでは、対前年比で252万円余の増収となった。

2022年度の事業ごとの実施状況は、次のとおりである。

### 1 教育研修事業

クレーン関係及び非破壊検査関係の資格等に関する講習会並びに北九州市委託の技術者研修を実施した。また、他機関への研修室等の提供や、(一社)日本非破壊検査協会九州支部の事務局としても、技術サロンや講演会開催等を支援した。

事業収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年度は大幅に減収したが、2022年度は前年度と同程度の1億3,000万円余の収入となった。

内訳としては、クレーン関係、非破壊検査関係ともに、前年度とほぼ同程度の受講者数及び事業収入となった。受講者数は82名の増、事業収入は153万円余の増収となった。

| 年度別<br>推移表 | 2020年度 |         | 2021年度 |         | 2022年度       |                |
|------------|--------|---------|--------|---------|--------------|----------------|
|            | 受講者数   | 金額(千円)  | 受講者数   | 金額(千円)  | 受講者数         | 金額(千円)         |
| クレーン関係     | 2,677  | 93,068  | 2,507  | 90,401  | <b>2,530</b> | <b>90,530</b>  |
| 非破壊関係他     | 780    | 20,767  | 1,069  | 27,761  | <b>1,128</b> | <b>28,836</b>  |
| 施設貸与収入     |        | 8,240   |        | 9,664   |              | <b>10,040</b>  |
| テキスト収入     |        | 4,885   |        | 4,818   |              | <b>4,769</b>   |
| 合計         | 3,457  | 126,960 | 3,576  | 132,644 | <b>3,658</b> | <b>134,175</b> |

### 2 材料試験事業

製造業や建設業を対象に金属材料・有機材料の引張試験やコンクリートの圧縮試験等の強度試験を実施した。また、2022年度は2017年度に取得したISO9001の着実な実施とともに、内部監査等を通じて職員の意識の向上を図った。

事業収入は、2016年度以降5,000万円以上を維持しており、2022年度は、過去最高の6,000万円以上の収入（6,266万円）となり、前年度比で300万円余の増収となった。

| 年度別<br>推移表 | 2020年度 |        | 2021年度 |        | 2022年度        |               |
|------------|--------|--------|--------|--------|---------------|---------------|
|            | 本数     | 金額(千円) | 本数     | 金額(千円) | 本数            | 金額(千円)        |
| 鉄筋・引張      | 11,656 | 16,152 | 12,044 | 16,802 | <b>12,987</b> | <b>17,901</b> |
| コンクリート     | 3,118  | 10,720 | 3,742  | 12,573 | <b>2,870</b>  | <b>9,538</b>  |
| プラスチック     | 743    | 5,817  | 932    | 7,734  | <b>728</b>    | <b>7,154</b>  |
| フィルム       | 4,182  | 15,388 | 3,611  | 13,394 | <b>4,706</b>  | <b>17,445</b> |
| その他        | 5,555  | 7,881  | 6,377  | 9,068  | <b>7,455</b>  | <b>10,623</b> |
| 合計         | 25,254 | 55,958 | 26,706 | 59,571 | <b>28,746</b> | <b>62,661</b> |

### 3 機械加工事業

地域の中小製造業等への技術支援として金属製品の機械加工を実施するとともに、これまで培ってきた知識や経験をもとに、技術的な助言・指導を行った。

2021年度は非破壊検査講習会用の試験片の加工を臨時的に行ったため、約600万円の増加となった。2022年度はコロナ禍によって事業収入が落ち込んだ2020年度からは若干ではあるが回復傾向にある。

| 年度別<br>推移表 | 2020年度 |        | 2021年度 |        | 2022年度     |               |
|------------|--------|--------|--------|--------|------------|---------------|
|            | 件数     | 金額(千円) | 件数     | 金額(千円) | 件数         | 金額(千円)        |
| 機械加工       | 934    | 38,383 | 849    | 44,416 | <b>852</b> | <b>42,319</b> |
| 技術相談       | 32     |        | 20     |        | <b>17</b>  |               |

#### 参考資料 3事業合計

| 事業名    | 2020年度  | 2021年度  | 2022年度         |                |
|--------|---------|---------|----------------|----------------|
|        | 実績(千円)  | 実績(千円)  | 予算(千円)         | 実績(千円)         |
| 教育研修事業 | 126,960 | 132,644 | <b>122,023</b> | <b>134,175</b> |
| 材料試験事業 | 55,958  | 59,571  | <b>54,000</b>  | <b>62,661</b>  |
| 機械加工事業 | 38,383  | 44,416  | <b>36,000</b>  | <b>42,319</b>  |
| 合計     | 221,301 | 236,631 | <b>212,023</b> | <b>239,155</b> |

### 4 設備拡充

#### 教育研修課

- ・本館2階トイレリニューアル工事：800万円

#### 材料試験事業

- ・100kN万能試験機（特別高速仕様）：940万円

#### 機械加工事業

- ・三次元測定機：2,068万円

### 5 行政及び各関係機関、団体との協力

福岡県、北九州市及び九州経済産業局等の行政機関、大学、経済団体等が推進する産業技術の開発や交流・連携等の事業には積極的に参画・協力を行った。

- (1) 福岡県ものづくり中小企業推進会議
- (2) 公益財団法人 北九州産業学術推進機構
- (3) 一般社団法人 日本非破壊検査協会 九州支部事務局
- (4) 北九州商工会議所
- (5) 一般社団法人 北九州中小企業団体連合会
- (6) 福岡県立戸畑高等技術専門校